

# 2019年度自己評価の結果について

(公表シート 様式 4)

学校法人旭川カトリック学園 旭川天使幼稚園

## 1. 本園の教育目標

- ・学校教育法に基づき幼児を教育し、キリスト教の精神と理念に基づいて、他者に対する思いやりと自己犠牲の精神を育む。
- ・キリストによって示された神の愛を知り、他者への祈りを通して世界観を持つ。

## 2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・自己点検・評価を通じて保護者のニーズを確認することで、本園としてのビジョンを明確化する。
- ・幼児教育が人間形成の根を作る時期であることを教師と保護者が共有し、子どもを他者と比較することなく育てる。
- ・宗話や保育室や教会などで、園児が他者のために祈る体験を多く持つ。

## 3. 評価項目の達成及び取組み状況

評価項目・目標	取組み状況
1 保育の計画性 保育内容及び指導の在り方等を精査し、指導計画を策定し、教育内容の充実を図る。	年間カリキュラム、月案、週案をたて、計画的に保育を進めることができた。幼児の実態の変化、季節や環境の変化などにもできるだけ柔軟に対応していく保育を行った。10月に公開保育を行い、コーディネーター2名とともに保育の見直しを行ったことで、さらに楽しくのびのびと遊ぶことができる環境作りを設定することができた。
2 保育の在り方、幼児への対応 安全管理の徹底、幼児理解の向上、子育て支援その他の充実を図る。	園児一人ひとりをしっかり見つめ、話をよく聞き思いを受け止め、園児と共感しながら保育活動を行った。園児の様子などについて保育者同士で話し合い共通理解をするよう心がけた。いろいろな遊具が劣化してきたため、点検や危険箇所の確認を定期的に行い、安全管理に配慮をした。
3 保育者としての資質 保育専門家としての能力、姿勢、責任等資質向上を図る。	保育の『企画－実施－評価』の徹底を今年度も計り、保育の充実と教師の資質向上を目指した。また、ポートフォリオに取り組むことで、園児の成長を自分の喜びと感じ、園児と一緒に生活を創り出すことを楽しいと感じ、生き甲斐を持って保育に取り組むことができた。
4 保護者への対応及び家庭との連携 園児に関する情報の発信と受信、保護者のニーズの把握につとめ、要望や苦情に適切な対応を図る。	保護者に個々の園児の様子を伝えていくよう、また家庭での様子を伝えて頂くよう連絡を密に取っていく努力をした。保護者からの相談や要望も出しやすいように、普段からの声かけやアンケートなどに取り組んだ。
5 地域社会との連携 地域の自然や社会との関わり及び小学校との連携を図り、地域開放の努力をする。	市内の姉妹園や聾学校との交流を行った。また小学校との交流や中学生の職場体験の受け入れなども行い、積極的に関わる努力をした。

<p>6 研修と研究 研修・研究を積極的に行い、専門性を高める努力をする。</p>	<p>研修会への参加の他、園内研修もコーディネーターの先生を交えた公開保育の研究やポートフォリオの取り組みなど行うことが出来た。例年課題としている、地域社会との連携や子育て支援、危機管理対応などの研修は今年度もあまり行うことができなかった。</p>
<p>7 情報公開 保育の現状等や自己点検・評価の結果等を個人情報保護に留意しつつ、積極的に園便り等で情報公開する努力をする。</p>	<p>園便りやクラス便り、週予定の発行を定期的に行うことができた。ホームページのブログ更新もできるだけ行う努力をし、保護者やご家族の方々、園を探している方々などにも園の様子を伝えることができた。今後も個人情報保護にも配慮しながら、できるだけ情報発信を行いたい。</p>

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

今年度は、10月に実施した公開保育に向け、コーディネーターを迎えての園内研修を充実して行き、保育の見直しや園の課題にしっかり取り組むことが出来た。外部の視点からのアドバイスは新鮮で、今後取り組むべき課題を、全教職員が共通理解することができた。まだ不十分な面も見られるが、それぞれ自己評価し、取り組み状況を話し合うことを通して、本園としての方針を明確にすることができ、それを実践する礎とすることができた。

#### 5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
安全管理	安全管理の研修がなかなか行えないが、全員が安全管理への共通意識を持つ事ができるよう、計画的に取り組む必要がある。施設面での対応と、教職員の意識づけ、並びに危機管理マニュアルの見直しを引き続き行っていきたい。
特別支援教育	幼児に対応した個別の指導計画の作成、職員配置などを検討するとともに、医療・福祉の関係機関との連携も保護者と一緒に検討していく。また、当該児が進学する小学校との連携を密接にしていきたい。特別支援についての研修はこれからも継続して参加し、知識と理解を深めていきたい。
園に対する保護者の満足度の把握	アンケートなどを通して保護者からの意見を聞く機会を引き続き作っていききたい。本学園の建学の精神や本園の特色を大切にしつつ、子育て中の保護者が期待する幼稚園像を把握し、現代社会において求められるカトリック幼稚園の姿を確認することで、本園のビジョンを策定する基礎としたい。

#### 6. 学校関係者の評価 A(満足)・B(やや満足)・C(やや不満)・D(不満)

<p>◎ 保育の計画性      A-67%    B-33%    C-0%    D-0%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 頻度・内容共に、子どもが積極性を持って関わられるようにデザインされていると思う。</li> <li>・ 季節に応じて毎月楽しい行事があり、子どもたちも楽しそうである。</li> <li>・ バスに乗っての園外保育や、クッキングなどが昨年と比べるとやや少ない気がした。</li> </ul> <p>◎ 保育の在り方、幼児への対応      A-100%    B-0%    C-0%    D-0%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもから幼稚園での様子を聞く機会は少ないですが、常に明るさを保っているのは園生活のおかげかと思う。</li> <li>・ 個々それぞれに合った関わり方をしていると感じた。</li> </ul>
---

・子ども一人一人の性格や能力に応じて適切に対応しているので、子どもも充実した園生活を送ることが出来た。

◎ 保育者としての資質 A-66% B-17% C-17% D-0%

- ・みなさんすごく優しくしてくれていると感じる。
- ・とても親身になって、子どものことを考えてくれる。ただ、言葉の受け取り方に誤解が生じたことがあり、確認することが必要なことがあった。
- ・預かり保育に関して、区切りや線引きが曖昧だと感じる部分が多くあった。厳しさと優しさは紙一重だと思う。

◎ 保護者への対応及び家庭との連携 A-83% B-17% C-0% D-0%

- ・色々話を聞いてくれ、ありがたかった。回答やアップデートの速さに感謝していた。
- ・新型コロナ対策など大変だったと思うが、適切に対応していた。
- ・全てとはいかないが、保護者の要望に出来るだけ応えようとしていてありがたかった。

◎ 地域社会との連携 A-67% B-33% C-0% D-0%

- ・特に年長クラスになってからは、近郊の小学校との交流の機会が多く、穏やかにステップアップ出来ていると思う。
- ・お散歩などの園外保育もあり、小学校との交流も何度もあり、小学生になる前に学べることが沢山あってよかった。

◎ 研究と研修 A-83% B-17% C-0% D-0%

- ・正確には内容を把握していないので評価が難しいが、裏々の努力でのクラス・園運営だと思う。

◎ 情報公開 A-100% B-0% C-0% D-0%

- ・常にオープンであると感じている。
- ・行事や日常の様子がブログ等で見る事が出来、楽しい様子や頑張っている様子が伺える。
- ・普段なら見られない幼稚園生活を、ブログやクラスだよりなどで知ることが出来て、うれしい。

## 7. 財務状況

大手監査法人である太陽有限責任監査法人(東京)の監査を受け、適正に運営されていると認められている。また、法人本部の財務状況報告により法人内各幼稚園及び学園全体の財務状況は職員の間にも周知されており、共通理解に立って効率的な運営に努めている。